



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 保土谷化学工業株式会社
 コード番号 4112 URL <http://www.hodogaya.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 喜多野 利和
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 村上 康雄

TEL 03-5299-8019

四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	24,153	△1.9	4	△75.6	△35	—	52	△35.3
27年3月期第3四半期	24,615	△2.9	18	—	68	—	81	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △598百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 1,846百万円 (44.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	0.67	—
27年3月期第3四半期	1.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	53,221	31,108	54.5
27年3月期	54,483	32,107	54.3

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 28,990百万円 27年3月期 29,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.00	—	2.50	4.50
28年3月期	—	2.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	3.8	800	0.5	600	△17.8	400	△35.8	5.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	84,137,261 株	27年3月期	84,137,261 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	5,082,143 株	27年3月期	5,074,511 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	79,058,629 株	27年3月期3Q	79,078,249 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済についてですが、
まず、米国経済は、個人消費や雇用環境が堅調に推移し、緩やかな回復傾向を維持しました。
しかし、最近の中国経済の減速傾向や原油価格の下落、またそれに伴う新興国経済の減速等により、
景気の減速が懸念されております。
欧州経済も、米国同様、中国経済の減速懸念、原油安、新興国経済の減速等により、
下振れリスクが高まってきました。
また、中国経済は、消費の回復ペースの鈍さと輸出の低迷が続いていることや、
製造業における過剰な設備投資により、減速傾向が続いております。
その中、わが国経済は、政府や日本銀行の経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用情勢の改善など、
景気は緩やかな回復基調を維持しましたが、
前述のような世界経済の下振れ等により、景気が減速するリスクが高まっています。

このような情勢下、当第3四半期連結累計期間の売上高ですが、色素材料事業は好調に推移しましたが、
有機EL材料事業での需要の減少や、アグロサイエンス事業での顧客の在庫調整の影響などにより、
前年同期比4億62百万円減の241億53百万円となりました。
損益面では、売上高の減少により、減益となりましたが、原燃料価格の下落やコストダウン等に努めた結果、
前年同期比13百万円減の4百万円の黒字を確保しました。
また、経常利益は、前年同期比1億3百万円減（前期は68百万円の経常利益）の35百万円の損失、
親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比28百万円減の52百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

〔機能性色素セグメント〕

イメージング材料事業は、プリンター向け材料で依然厳しい状況が続いていますが、
一部で新製品が採用されたこともあり、前年同期並みを確保しました。
色素材料事業は、デジタル家電向けアルミ着色用染料が好調に推移し、
また、食用色素も需要が回復したことで、増収となりました。
有機EL材料事業は、今後の新規採用の動きや、着実な用途の広がりが進んでいますが、
スマートフォン向け需要の減少により、大幅な減収となりました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、58億93百万円となり、前年同期比2億38百万円（3.9%）の減収、
となりました。

〔機能性樹脂セグメント〕

樹脂材料事業は、ウレタン原料が国内外で安定した需要が続きましたが、
建築用途向けが競争激化により減少し、前年同期並みとなりました。
建材事業は、止水材料・工事が引き続き好調に推移しましたが、防水材料・工事が低迷し、
減収となりました。
特殊化学品事業は、医薬品分野で堅調に推移しましたが、その他の分野で顧客の在庫調整があり、
前年同期並みとなりました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、93億13百万円となり、前年同期比83百万円（0.9%）の減収、
となりました。

〔基礎化学品セグメント〕

過酸化水素事業は、紙パルプ、および環境分野向けの需要が堅調に推移しましたが、
誘導品事業の需要の減少や、その他の工業薬品で、一部製品の競争激化があり、減収となりました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、50億87百万円となり、前年同期比50百万円（1.0%）の減収、
となりました。

[アグロサイエンスセグメント]

アグロサイエンス事業は、農耕地用除草剤の需要が増加しましたが、家庭園芸用除草剤で顧客の在庫調整があり、減収となりました。以上の結果、当セグメントの売上高は、22億78百万円となり、前年同期比1億31百万円(5.5%)の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(12月末)における

資産合計は、532億21百万円となり、前連結会計年度末(3月末)比12億62百万円の減少となりました。

主な増減要因は、有形・無形固定資産の減少17億12百万円、受取手形及び売掛金の減少16億64百万円、商品及び製品の増加4億18百万円、有価証券の増加15億円等であります。

負債合計は、221億12百万円となり、前連結会計年度末比2億63百万円の減少となりました。

主な増減要因は、短期・長期借入金の減少9億80百万円、支払手形及び買掛金の増加3億60百万円等であります。

純資産合計は、311億8百万円となり、前連結会計年度末比9億98百万円の減少となりました。

主な増減要因は、非支配株主持分の減少4億20百万円、利益剰余金の減少3億42百万円、為替換算調整勘定の減少2億28百万円等であります。

以上の結果、自己資本比率は54.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月11日に発表した平成28年3月期の業績予想に、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。

以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号

平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、

支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第3四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、

「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,123	6,916
受取手形及び売掛金	11,863	10,198
有価証券	—	1,500
商品及び製品	3,212	3,630
仕掛品	292	335
原材料及び貯蔵品	893	1,178
繰延税金資産	100	53
その他	483	541
貸倒引当金	△20	△12
流動資産合計	23,948	24,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,594	7,246
土地	11,249	11,250
その他(純額)	4,781	2,928
有形固定資産合計	22,625	21,425
無形固定資産		
のれん	568	152
その他	406	310
無形固定資産合計	974	462
投資その他の資産		
投資有価証券	6,321	6,333
長期貸付金	17	29
繰延税金資産	147	171
退職給付に係る資産	79	135
その他	612	559
貸倒引当金	△243	△239
投資その他の資産合計	6,934	6,989
固定資産合計	30,534	28,877
資産合計	54,483	53,221

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,887	5,247
短期借入金	6,134	6,420
未払法人税等	171	189
引当金	373	195
その他	1,051	1,594
流動負債合計	12,618	13,647
固定負債		
長期借入金	6,228	4,962
繰延税金負債	1,638	1,676
再評価に係る繰延税金負債	1,297	1,297
引当金	112	112
資産除去債務	60	59
その他	419	355
固定負債合計	9,757	8,465
負債合計	22,376	22,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	9,589	9,589
利益剰余金	4,084	3,741
自己株式	△1,699	△1,700
株主資本合計	23,171	22,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,614	1,606
土地再評価差額金	2,714	2,714
為替換算調整勘定	1,567	1,339
退職給付に係る調整累計額	501	503
その他の包括利益累計額合計	6,397	6,162
非支配株主持分	2,537	2,117
純資産合計	32,107	31,108
負債純資産合計	54,483	53,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	24,615	24,153
売上原価	17,345	16,881
売上総利益	7,269	7,271
販売費及び一般管理費	7,250	7,267
営業利益	18	4
営業外収益		
受取利息	26	22
受取配当金	86	103
為替差益	254	—
固定資産賃貸料	49	45
助成金収入	48	14
雑収入	45	54
営業外収益合計	509	240
営業外費用		
支払利息	111	97
退職給付費用	230	30
為替差損	—	37
雑損失	117	115
営業外費用合計	459	280
経常利益又は経常損失(△)	68	△35
特別利益		
固定資産売却益	12	13
投資有価証券売却益	87	—
補助金収入	17	4
受取補償金	5	—
特別利益合計	123	17
特別損失		
固定資産除却損	2	6
損害賠償金	—	20
特別損失合計	2	27
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	189	△45
法人税等	130	213
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59	△259
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22	△312
親会社株主に帰属する四半期純利益	81	52

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59	△259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	690	△8
為替換算調整勘定	867	△332
退職給付に係る調整額	228	1
その他の包括利益合計	1,787	△339
四半期包括利益	1,846	△598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,627	△182
非支配株主に係る四半期包括利益	218	△416

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	189	△45
減価償却費	1,192	1,388
のれん償却額	388	406
引当金の増減額(△は減少)	△179	△188
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	187	△47
受取利息及び受取配当金	△112	△126
支払利息	111	97
為替差損益(△は益)	△63	20
有形固定資産売却損益(△は益)	△11	△11
固定資産除却損	2	5
投資有価証券売却損益(△は益)	△87	—
受取補償金	△5	—
損害賠償損失	—	20
売上債権の増減額(△は増加)	1,087	1,663
たな卸資産の増減額(△は増加)	△818	△766
仕入債務の増減額(△は減少)	1,212	360
その他の資産・負債の増減額	△1	432
未払消費税等の増減額(△は減少)	33	△123
その他	△23	38
小計	3,100	3,124
利息及び配当金の受取額	112	127
利息の支払額	△108	△96
補償金の受取額	5	—
損害賠償金の支払額	—	△20
法人税等の支払額	△223	△324
法人税等の還付額	175	66
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,062	2,876
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△170	△964
定期預金の払戻による収入	118	730
有形及び無形固定資産の取得による支出	△227	△297
有形及び無形固定資産の売却による収入	28	40
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	216	—
関係会社株式の取得による支出	△97	—
貸付けによる支出	△5	△23
貸付金の回収による収入	29	21
差入保証金の差入による支出	△67	△21
差入保証金の回収による収入	16	40
その他	△1	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162	△471

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50	—
長期借入れによる収入	1,950	—
長期借入金の返済による支出	△1,158	△980
配当金の支払額	△179	△221
非支配株主への配当金の支払額	△40	△2
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△2	△1
リース債務の返済による支出	△23	△25
その他	△72	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	423	△1,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	285	△84
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,609	1,089
現金及び現金同等物の期首残高	4,190	6,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,799	7,744

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロ サイエンス	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	6,131	9,396	5,137	2,410	23,075	1,539	24,615	—	24,615
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	118	118	235	—	472	1,050	1,522	△1,522	—
計	6,249	9,515	5,373	2,410	23,548	2,589	26,137	△1,522	24,615
セグメント利益又は損失(△)	△840	381	166	△47	△340	359	18	△0	18

(注1) 各セグメントの主な製品

(1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等

(2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、
ウレタン系及びセメント系各種建築・土木用材料、防水・止水工事
ホスゲン誘導品(医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体)

(3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料

(4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、研究受託業務等を含んでおります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロ サイエンス	計				
売上高									
(1)外部顧客に対 する売上高	5,893	9,313	5,087	2,278	22,572	1,580	24,153	—	24,153
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	111	100	161	—	373	1,060	1,433	△1,433	—
計	6,004	9,413	5,248	2,278	22,945	2,641	25,586	△1,433	24,153
セグメント利益 又は損失(△)	△1,136	610	457	△234	△302	304	2	2	4

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、各種染料等
- (2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、
ウレタン系及びセメント系各種建築・土木用材料、防水・止水工事
ホスゲン誘導品(医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体)
- (3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料
- (4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、研究受託業務等を含んでおります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。